

ゼントします。匿名での応募は無効になります。はがきの余白に意見、情報、イラストなどカラーで自由に書いてください。紙上で紹介します。お待ちしています。

⑥ あて先…〒028-1839
2 普代村9-13-2 普代村役場総務課広報クイズ係
⑦ 締め切り…6月6日(月)当
日消印有効

⑧ 応募総数…7通で7人の方が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書券をお送りします。おめでとうございます。
⑨ 当選者…① 島山雄児くん

—B

(盛岡市・10歳) ②熊谷久利実さん(盛岡市・12歳) ③大村純玲ちゃん(太田名部・4歳) ④畠山彩愛さん(盛岡市・12歳) ⑤中山天くん(縁市・9歳)

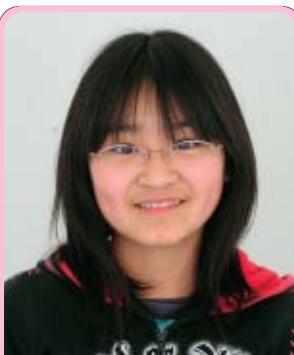
「あしたまたね。」
それはうれしくて悲しい言葉。私はそう考えていました。もし私がこの言葉を使うのなら、明日またいっしょに遊びうねという意味で使うと思います。でも主人公の女の子はこの言葉を、明日またいっしょに生きようねという意味で使っていたそうですね。私は生きようなどと言う考えは思いつきませんで

す。私は生きようなどと言ったのは、私がこの言葉に大切な意味と人間が忘れてしまつたじゅんすいさを感じます。明日が

はずです。
私はだれもが幸せだと思います。毎日がほしいです。平和で楽しくて、毎日が楽しみになります。そんな毎日があるのなら、小さな子どもや大人に、「明日またいっしょに生きようね。」という言葉が二度と出ることのない世の中になるはずです。

れなければいけないのか、そして、どうしてこのようなことをするのか、これらのことにも強烈な怒りを感じます。私の夢に見ている、だれもが幸せで楽しい毎日、だれもが別されず、だれもが平等である。そんな夢を世界中の人々と共に共有できたらと思います。

この本を読んで、自分たちが平和で幸せであることの意味をみんなにも考えてほしいと思いました。命



★小学校高学年の部

普代小5年 太田 綾華さん

平和を願つて

さんがいてお母さんもいて、弟も姉もいる。ただひたすら平和にして幸せに生きていた私。一方で必死にもがいて苦しみながら生きている子どもたちや人々。それなのに最近は、すぐ、「死ね。」とか、「いなくなれ。」という言葉を平気で言っている人たちがいます。私はとてもそれが許せ

ません。必死で生きて、苦しむながら、もがきながら生き続けるためにがんばっている人たちに失礼だと、そして申し訳ないとは思わないのですが、どうか。

私はこの言葉に大切な意味と人間が忘れてしまつたじゅんすいさを感じます。明日が

だれもが平等で、差別なく、みんなが楽しいと感じる日々を夢見てています。

最近よくニュースで目にす る記事に、ロシアでばく発があつたとか、自爆テロで十八人死亡したなどという、とても悲しいものがあります。私はなぜ何もしていない人たちがこのような事件にまきこま



キャツツ アイ

CAT'S EYE

* OPEN 19:00~

* CLOSE SUNDAY

* TEL : 35-3625

毎週水曜 焼酎ボトル 1本¥1,000

カラオケ1曲
¥100

おしらせ

昔のビデオテープ(ベータ・8ミリ・VHS等)をDVDに再記録して残しませんか?

きっと我が家の大物になるでしょう!

1枚1000円より受付中! 詳しくは下記まで

(有)坂下電化センター TEL 35-2138

